

令和 6 年度 年間授業計画 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科: 芸術 科目: 音楽Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年

| | |
|--------|---|
| 教科担当者: | A・B組 白井 C・D・E組 白井 F・G組 白井 |
| 使用教科書: | 音楽Ⅱ 教育芸術社 MOUSA 2 副教材 高校生のための音楽研究ノート |

教科 芸術 の目標:

| | |
|----------------|--|
| 【知識及び技能】 | 諸芸術の特性について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。 |
| 【思考力、判断力、表現力等】 | 創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることができる。 |
| 【学びに向かう力、人間性等】 | 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 |

科目 音楽Ⅱ の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 | 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。 | 主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----|---|---|----|------|---|---|---|------------------|
| | | 歌 | 器 | 創 | | | | | | |
| 単元 9 ミュージカルナンバーを歌おう 【知識及び技能】 曲想と音楽の構造・歌詞の関わりについての理解し、曲にふさわしい発声、発音などの技能を身に付け歌唱している。 【思考力、判断力、表現力】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら意図をもって表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽に興味をもち、主体的・能動的に学習活動を行い音楽を愛好する。 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 有名なミュージカルの鑑賞と歌唱 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | ・教材 プリント | | | | | | | | | |
| | ・一人1台端末の活用(場面) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 単元 10 オペラに親しもう 【知識及び技能】 音楽の特徴と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら意図をもって表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽に興味をもち、主体的・能動的に学習活動を行い音楽を愛好する。 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 有名なオペラの鑑賞と歌唱 | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | ・教材 プリント | | | | | | | | | |
| | ・一人1台端末の活用(場面) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 単元 11 ボディパーカッションをしよう 【知識及び技能】 曲想と奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力】 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら意図をもって表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽に興味をもち、主体的・能動的に学習活動を行い音楽を愛好する。 | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 協動的な活動による創造的な表現 | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | ・教材 プリント | | | | | | | | | |
| | ・一人1台端末の活用(場面) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 単元 12 【知識及び技能】 ・指導事項 【思考力、判断力、表現力】 ・教材 【学びに向かう力、人間性等】 ・一人1台端末の活用(場面) | 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 定期考査(学年末考査)/返却と解説 | | | | | | | | | | |